

## クリスマスのおくりもの 2011

プロキオンは、いつもクリスマスプレゼントをくれるサンタさんにプレゼントを渡したい。シリウス母さんに相談をして、宇宙一おいしいイチゴをのせたクリスマスケーキをつくることにする。

↓

星座たち登場。一緒に宇宙一おいしいイチゴをオリオン号で探しに行く

↓

イチゴのある星がどこにあるかわからないプロキオンたち。オリオン号でぐるぐるまわりながら、12星座たちに聞く。

↓

12星座に教えられて、赤い星を見つける。赤い星をめざしてブラックホールの近くまでくるが、星の見え方がおかしい。星がだんだんドーナツ状になってくる。本当に目指していた星なのかわからなくなる。

↓ (どうやって登場するかなあ)

はかせ（サンタさん）登場。そのまままっすぐすすむようアドバイス。でも、その先にブラックホールがあることを呪文めいた？言葉で教える。

「どんな見え方になっても、たとえ見えなくなってしまっても、信じて進めば、どんなものも必ず見つけられるものじや。このまままっすぐ信じる道をすすむがよい」（みたいなかんじ）

↓

オリオン号は、ブラックホール突入。（邪魔ものホイホイだしたいなあ）ブラックホールの中には、ブラックホール大魔王がいる。出口をふさいでいる。かのように見えたが、実は、自分も出られなくなっている。ブラックホール大魔王は、実は、イチゴ王子（※1参照）出口の扉は赤と青の二つ。なぞなぞは、「赤い星と青い星。温度が低いのはどっち？」答えられるのは一度きり。間違えると永遠に宇宙をさまうことになってしまう。プロキオンたちは、逆の扉を開けそうになりながらも（じらす）、正しい扉を開けようとする。が、なかなかあかない。「がんばれ～」ポイント。無事、ブラックホールから抜け出す。

↓

イチゴの星がだんだん近づいてくる。イチゴの星には、宇宙一おいしいイチゴの畑がある。みんなでイチゴを摘んで帰る。（イチゴ星の人たちを出す？）

↓

戻ると、シリウス母さんがケーキを焼いてくれていた。みんなでケーキにイチゴをトッピングして、「サンタさんへ」のカードとともにまくらもとに置いておく。

～エンディング♪～

↓

プレゼントをもってきたサンタさん。それをみてにっこり。ケーキを持っていくが、プロキオンたちのまくらもとには、「ケーキありがとう。みんなで食べましょう」というカードがおいてある。サンタさんと一緒にケーキを食べている絵。

おしまい。

#### ※1 ブラックホール魔王

- ・実は、イチゴ星のイチゴ王子
- ・竹うまいのって大きく見せかけている。(だから、すぐコテツとこける)
- ・一見怖そうなのにしゃべり方が丁寧←やっぱり王子だから。
- ・なぜ、ブラックホール魔王として怖そうにみせているのか  
→一人ぼっちで心細かった。
- ・なぜ、ブラックホールからでられなくなったのか。そもそもイチゴ星から出たのか。  
→
- ・頼りなくみえて信念がある?イチゴ星の人たちのために星を出た?

隠れテーマは「信じること。」